



Infor LN サービス ワークロード平 準化ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	tsworkloadlevug (U9868)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017年12月19日

目次

文書情報

第1章 ワークロード平準化 (スケジューリング).....	7
ワークロード平準化 (スケジューリング).....	7
第2章 時間基準のワークロード平準化およびスケジューリング.....	9
スラック処理.....	9
第3章 ワークロードの再平準化 - 時間基準.....	11
計画のワークロード平準化と修正.....	11
新規計画の読込の場合.....	11
既存の計画に活動を追加する場合 (計画の再生成).....	12
既存の計画に活動を追加する場合 (既存の計画の保持).....	12
活動を計画する場合.....	12

文書情報

このガイドでは、ワークロード配分、時間基準のワークロード、スケジュールなど、ワークロード平準化機能に使用可能な各種の概念および処理について説明します。

目的

本書は、下記の目的のために作成されています。読者が Infor LN サービスに関する知識を有していることを前提としています。

- 次の概念の理解
グループ計画
- 次のタスクの実行
ワークロード配分
- 時間基準と経路基準

本書の概要

このガイドでは、ワークロード平準化処理で利用可能な各種概念および処理について説明します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。したがって、マニュアル内の他のセクションへの参照は、次の例のように示されます。

詳細については、「Infor LN サービスオンラインヘルプ」を参照してください。

参照先のセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線が付いた用語は、用語集定義へのリンクを示しています。本書をオンラインで表示した場合、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動できます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

第1章

ワークロード平準化 (スケジューリング)

1

この章では、ワークロード平準化 (スケジューリング) の概念について簡単に説明します。

ワークロード平準化 (スケジューリング)

グループ計画では、ワークロード平準化を使用して、並行してスケジュール設定される計画属性の組合せに関して生成する必要があるグループの数を定義します。ワークロード平準化により、これらの属性の1つの組合せにつき複数のグループが作成されます。スケジュール基準のワークロード平準化の場合、活動の計画開始時間と計画終了時間を使用して、グループセット内のグループ全体に活動を分配します。

スケジュール基準のワークロード平準化は次で構成されます。

- 活動の選択
ワークロード平準化が実行される活動をすべて選択します。次を除いて、選択した活動はワークロード平準化の別のグループに移動されます。
 - 凍結および確定計画グループ
 - 凍結および確定計画活動セット
 - 確定計画活動
- 活動のソート
選択した活動をソートします。最初のソート基準はグループセットです。各グループセット内で、活動は開始/終了日を基準にソートされます。活動は、次を基準にソートされません。
 - 最早開始時間
 - 計画開始時間
 - 最遅開始時間 (活動の最遅開始時間は、最遅終了、活動期間、適用可能カレンダー、利用性タイプ、およびタイムゾーンをもとに計算されます)
 - 計画終了時間
 - 最遅終了時間

注意

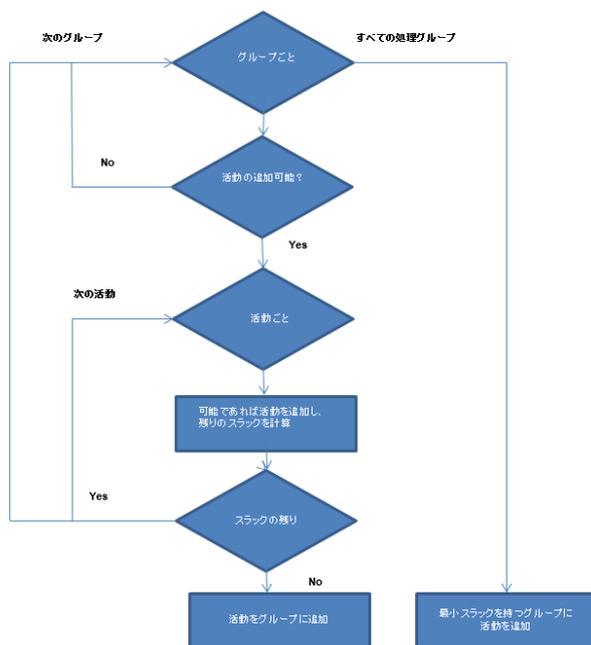
開始日が指定されていない場合、このフィールドのデフォルト値はゼロに設定されます。終了日が指定されていない場合、許容される最大値がとみなされます。開始日が指定されていない活動は、計画で常に最初にスケジュール設定されます。終了日が指定されていない活動は最後にスケジュール設定されます。

- グループへの活動の分配**
 選択した活動は、グループセット内のグループ全体に分配されます。各活動は、最早開始時間が指定されているグループに追加されます。それに応じて、グループの終了時間が更新されます。すべての活動がグループに追加されるまで、処理は続きます。
 活動が早い日時または遅い日時に移動またはスケジュール設定されると、計画開始時間および計画終了時間が更新されます。

注意

資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダー、作業オーダー、および計画活動の [最早開始時間の優先] チェックボックスがオンの場合、活動はその活動に指定された最早開始時間の前に開始できません。

スケジュール基準のワークロード平準化の処理は次のとおりです。



資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダー、作業オーダー、および計画活動の [最早開始時間の優先] チェックボックスがオンの場合、活動はその活動が追加されるグループの最遅終了時間に常に開始します。活動をグループに追加するとき、活動の最早開始時間が考慮されない場合、スラックは発生しません。活動が追加された後、後続の活動の処理が続行します。

資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダー、作業オーダー、および計画活動の [最早開始時間の優先] チェックボックスがオフの場合、活動は最早開始時間の前に開始されません。実際、活動をグループに追加した後、スラックが発生することがあります。

第2章

時間基準のワークロード平準化およびスケジューリング

2

この章では、時間基準のワークロード平準化およびスケジューリングの概念について簡単に説明します。

スラック処理

スラック処理はワークロード平準化処理の一部です。活動をグループに追加した後、スラックが発生することがあります。資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダー、作業オーダー、および計画活動の [最早開始時間の優先] チェックボックスがオンの場合、活動は最早開始時間の前に開始されません。実際、活動をグループに追加した後、スラックが発生することがあります。

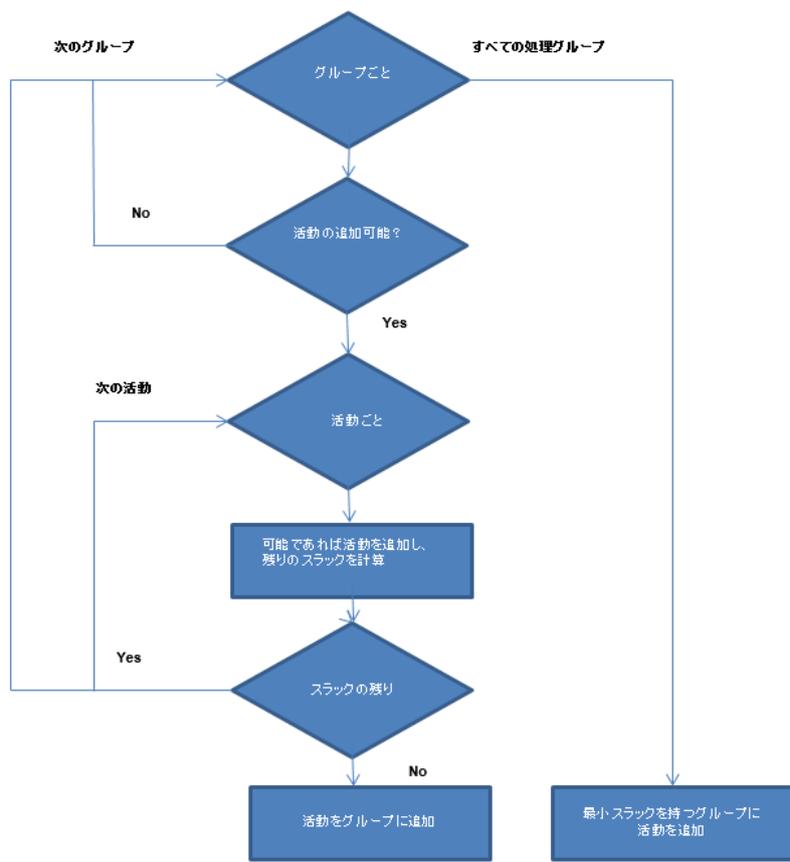
[最早開始時間の優先] チェックボックスがオンの場合、スラックが発生することがあり、スラックアルゴリズムを使用して活動が割り当てられます。アルゴリズムは、ワークロードが平準化されていない活動をスケジュール設定することにより、スラックを管理します。スラックアルゴリズムは、次の 2 ステップの処理です。

1. 活動が追加されるグループの選択。活動は可能な限り早く開始する必要があります。したがって、活動を追加できるのは、終了時間が活動の最早開始時間以前であるこれらのグループだけです。
2. スラックアルゴリズムが実施され、選択されたグループごとにスラックが最小化されます。ワークロード平準化されていない活動がすべて考慮され、活動がスラックを (部分的に) 最小化できるかがチェックされます。次の場合、スラックアルゴリズムが完全に考慮されます。
 - すべての活動がチェックされ、スラックを最小化できる活動がなくなった
 - スラックが完全に入力された

注意

資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダー、作業オーダー、および計画活動の [ソート方法] が [最早開始] に設定されている場合、スラック計算は適用できません。活動は最早開始時間でソートされるため、スラックの入力に使用できる活動はありません。

スラック処理の手順は、次のとおりです。



この章では、ワークロード平準化およびスケジューリング (再生) の概念について簡単に説明します。

計画のワークロード平準化と修正

新規計画の読込の場合

新規計画の作成時に、ワークロード平準化が実行されます。活動が読み込まれた直後に、平準化が実行されます。ワークロードの平準化にかかわらず、並行計画属性は新規計画が作成されるときに作成されるグループを定義します。ただし、ワークロード平準化が行われない場合、並行属性値の一意の組合せごとに 1 つのグループのみが作成されます。ワークロード平準化が行われる場合、並行属性値の一意の組合せごとに、グループセットとグループが作成されます。

ワークロード平準化と組み合わせて新規計画を作成した場合、作成されたグループはグループセットの一部でなくてもかまいません。スタンドアロングループも作成される可能性があります。したがって、新規計画には 1 つまたは複数のグループセットと 1 つまたは複数のスタンドアロングループが含まれます。

実施する必要がある修正は次のとおりです。

- 活動のグループが使用可能な場合、ワークロード平準化に使用する必要があるグループの一致する属性セットが検索されます。
 - グループの一致する属性セットが使用できない場合、グループセットも使用できません。したがって、ワークロード平準化は無視されます。
 - グループの一致する属性セットが使用できる場合、グループセットも使用できるため、ワークロード平準化を実行する必要があります。

注意

現在すべての活動は単一のグループにリンクされています。すべての活動が読み込まれると、ワークロード平準化が実行されます。並行計画属性は、グループセットとグループの両方の対象として考慮されます。

既存の計画に活動を追加する場合 (計画の再生成)

複数のグループがある計画のグループセットが存在する場合があります。新規活動は、常にグループセットの最初のグループに追加されます。したがって、新規活動を読み込んだ後、計画には既存の活動と新規活動が含まれます。

新規活動が既存の計画に追加された場合、ワークロード平準化は実行された新規計画のワークロード平準化と異なります。次のシナリオが考えられます。

- グループが1つだけのグループセット - 新規活動の読込時に作成されます。このシナリオでのワークロード平準化処理は、次のとおりです。
 - 新規グループを作成します。
 - グループセットのすべてのグループ全体に各グループセットの活動を分配します。
- 新規活動が追加されない複数のグループがあるグループセット。変更は行われません。
- 新規活動が追加される複数のグループがあるグループセット。このシナリオでのワークロード平準化処理は、次のとおりです。
 - グループセットに新規グループが作成する必要があるかどうかをチェックします。
 - グループセットのすべてのグループ全体にグループセット内の新規活動を分配します。

既存の計画に活動を追加する場合 (既存の計画の保持)

新規活動が既存の計画に追加され、既存の計画が修正されない場合 (新規活動の追加を除く)、この活動の正しいグループが検索されます。グループが利用可能な場合、以下がチェックされます。

- グループがグループセットの一部の場合。最早開始時間が指定されているグループセット内のグループが選択されます。活動はこのグループに追加されます。
- グループがグループセットの一部ではない場合。活動はこのグループに追加されます。

活動を計画する場合

- 活動が計画される前に、活動セット内の活動がソートされます。ワークロード平準化を実行する場合は、活動は最早開始時間、計画開始時間、計画終了時間、および最遅終了時間を基準にソートされます。活動を計画する場合は、新規のソートオプションの最遅開示時間が含まれます。活動の最遅開始時間は、最遅終了時間と活動期間をもとに計算されます。最遅終了時間をもとに活動を逆に計画する場合、最遅開示時間が利用できます。注意: 活動のカレンダー、利用性タイプ、およびタイムゾーンを使用して、最遅開始時間を計算します。
- 資源計画パラメータ (tsspc0101m000) セッションでサービスオーダ、作業オーダ、および計画活動の [最早開始時間の優先] チェックボックスがオフの場合、2つの活動の間にスラックが発生する可能性があります。この場合、スラックアルゴリズムを実行して、可能な限りスラックを最小化する必要があります。注意: ワークロード平準化のスラックアルゴリズムの実行と計画処理中の違いは、次のとおりです。
 - 計画処理の場合、スラックは、同じ活動セット内の活動を使用して最小化されます。その結果、活動は別の活動セットまたは別のグループに移動されません。
 - ワークロード平準化の場合、スラックは、グループに割り当てられていない活動を使用して最小化されます。その結果、活動は別の活動セットまたは別のグループに移動されます。